

平成26年度 湖北広域行政事務センター議会議員研修

研修の概要

- 実施日 平成26年10月9日(木)
- 研修先
 1. 大阪湾フェニックスセンター 泉大津沖埋立処分場
大阪府泉大津市夕凧町地先
 2. 大栄環境グループ 和泉リサイクルセンター・和泉リサイクル環境公園
大阪府和泉市テクノステージ2-3-28、和泉市納花町407-15
- 参加人数 28人(センター議員12人、監査委員1人、構成市職員1人、センター職員14人)
- 研修目的 当センター管内の2市から排出された一般廃棄物は、不燃性ごみについては破砕処理を行い最終処分場に埋立処分をしており、可燃性ごみについては適正に焼却処理を行い、処理によってできた焼却灰を大阪湾フェニックスセンターへ運搬することにより、そこで最終的に埋立処分をされています。
一方、現在当センターでは、一般廃棄物の最終処分場を建設中で、平成27年度からの供用開始を予定していますが、現最終処分場の埋立終了後の管理や跡地利用も今後の検討課題となっています。
こうしたことから、当センター議会では、管内から排出された廃棄物がどのように適正に処分されているのか実際に自らの目で見ることによって正しい理解ができると考え、また、今後、現処分場の跡地利用を検討するに際しての参考とするため、今回の研修を実施いたしました。
今回研修先とした大阪湾広域臨海環境整備センター(大阪湾フェニックスセンター)は、当センターをはじめ近畿2府4県168市町村から排出される一般廃棄物等を適正に埋立処分し、埋立によってできた土地を活用して、港湾の秩序ある整備を図っておられます。
一方の大栄環境グループは、「持続型資源循環社会」の実現を目標に、収集・運搬から、中間処理、再資源化をはじめ、最終処分、更には地域貢献まで、一貫したリサイクル事業を展開されている企業グループです。

研修内容

8:00 クリスタルプラザ出発

10:20 大阪湾フェニックスセンター 泉大津沖埋立処分場 到着

研修開始

大阪湾フェニックスセンターの職員の方からDVDによる映像を交え、大阪湾フェニックス計画、泉大津沖埋立処分場の概要について説明を受ける。その後、質疑応答が行われ、同職員の方から施設の運営および維持管理についての説明を受けた。

施設見学

バスに乗車して、埋立処分場内を説明を受けながら移動。メガソーラー設置の「ソフトバンク泉大津ソーラーパーク」について概要の説明を受けた。続いて、管理型排水処理施設へ移動し、展望台から埋立地及び大阪湾内の位置関係等について説明を受けた。

12:10 大阪湾フェニックスセンター 出発

13:40 大栄環境グループ 和泉リサイクルセンター 到着

研修開始

リサイクルセンターの方々のお出迎えを受け、同センターの所長さんからパワーポイントにより資料を見ながら、同グループとしてのリサイクル事業の展開や再資源化率向上などの取り組みについての説明を受けた。

施設見学

リサイクルセンター内の和泉エコプラザへ移動し施設の説明を受ける。次に、バスで移動し、平井管理型最終処分場を見学。ソーラーパネルについても間近な距離で見学し、説明を受けた。続いて、バス移動をして管理型最終処分場跡地を有効活用した和泉リサイクル環境公園を訪れ、公園内を散策しました。

15:30 大栄環境グループ 和泉リサイクル環境公園 出発

17:50 クリスタルプラザ 到着

◆研修の様子
(大阪湾フェニックスセンター)



(大栄環境 和泉リサイクルセンター)

